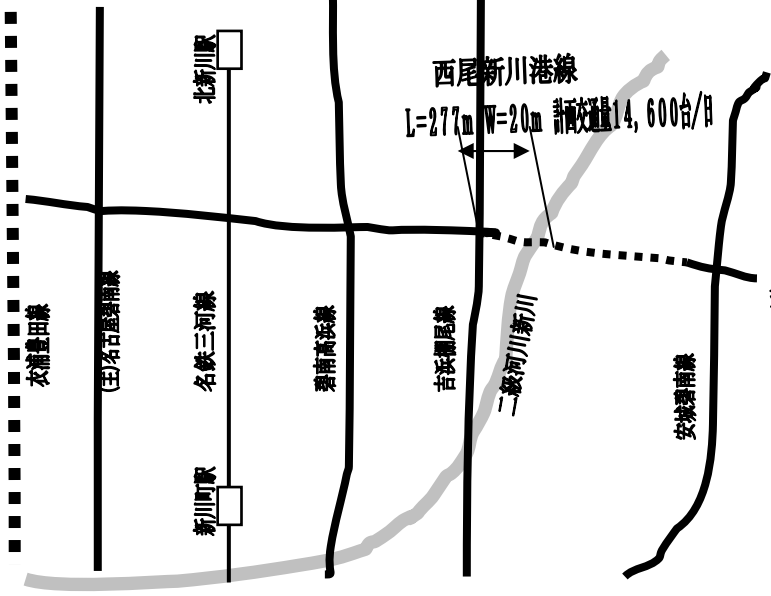


再評価結果（平成17年度継続事業箇所）

担当課：中部地方整備局 建政部 都市整備課
担当課長名：筒井 祐治

事業名	にしお しんかわこうせん 西尾新川港線	事業区分	街路	事業主体	愛知県
起終点	あいちけん へきなんし ほりかたちょういっちょうめ 自：愛知県碧南市堀方町一丁目 あいちけん へきなんし すみよしちょうさんちょうめ 至：愛知県碧南市住吉町三丁目			延長	0.3 km
事業概要					
本路線は、西尾市街から、衣浦港へ至る幹線道路であり、終点側の一部区間を除き2車線で計画されている。 碧南市内においては、県道西尾新川港線のバイパスとして位置付けられており、都市計画道路安城碧南線より東の区間がまず供用し、つづいて、西部区間の終点より事業化し、順次、施工・竣工してきた。残る未供用区間は、延長713mであり、今回対象区間は、そのうち西側277mである。 未整備区間を整備し、通過交通のスムーズな誘導及び歩行者等の安全確保を行う等交通環境を改善するため、平成7年度に事業認可を得て街路事業により整備を進めている。					
H7年度事業化	S47年度都市計画決定 (H12年度変更)	H7年度用地着手	H15年度工事着手		
全体事業費	約19億円	事業進捗率	75%	供用済延長	0m
計画交通量	14,600台/日				
費用便益比	B/C 1.6	総費用 21億円 事業費：21億円 維持管理費：0.14億円	総便益 32億円 走行時間短縮便益：29億円 走行費用減少便益：2.7億円 交通事故減少便益：0.48億円	基準年	平成16年
事業の効果等					
・都市の再生（DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する。） ・個性ある地域の形成（新川により分断されている碧南市の一体的発展が見込まれる。）					
関係する地方公共団体等の意見					
西尾新川港線は、地域交流の促進、交通緩和に重要な役割を果たすことが期待されており、碧南市から早期整備の要望を受けています。（H16.4.9）					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
西尾地区の東部及び吉良地区では、大型の自動車部品工場の内陸立地が進んでおり、衣浦港港湾区域は、大型工場が立地している。このため、両地区を重量車両が円滑に往来できる幹線道路が必要となっている等事業の必要性が増大している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
平成15年度に用地取得を完了した。 残事業は、橋梁工1基を含む道路工事L=277m。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地交渉や代替地の選定等に時間を要したことから、事業が長期化した。平成15年度に用地取得を完了しており、平成18年度事業完了を目標としている。					
施設の構造や工法の変更等					
新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材の使用等によりコスト縮減を図るとともに、「あいくる材」の積極的な活用等により環境負荷の低減に努める。					
対応方針 ：事業継続					
事業概要図					

衣浦港



愛知県

至 西尾